

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年05月31日

計画の名称	可児市下水道整備計画（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和02年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	可児市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	636	A	636	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R2末)
1	下水道による都市浸水対策の達成率を79%（H28）から80%（H32）に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）	79%	80%	80%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	改築	下恵土第一雨水幹線整備 工事(浸水対策)	1800×2000 L=0.013km	可児市						6	-	
	A07-002	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	改築	土田渡雨水幹線整備工事 (浸水対策)	1500×1500 L=0.22km	可児市						120	-	
	A07-003	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	新設	中恵土雨水幹線整備工事 (浸水対策)	1400×1400 L=0.13km	可児市						230	-	
	A07-004	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	改築	花軒雨水幹線整備工事(浸水対策)	U1400×1400mm L=0.3km	可児市						60	-	
	A07-005	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	改築	川合南雨水幹線整備工事 (浸水対策)	U2300×2300 L=0.2km	可児市						50	-	
	A07-006	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	新設	土田渡雨水支線整備工事 (浸水対策)	HP 1000 L=0.3km	可児市						70	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	可児市	直接	可児市	管渠(雨水)	新設	下恵土宮瀬雨水支線整備 工事(浸水対策)	1500×1000 L=0.16km	可児市						100		-
											小計						636		
											合計						636		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 可児市建設部内において実施	事後評価の実施時期 令和5年3月
	公表の方法 ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	浸水対策を行い、市民の安全・安心で快適に暮らせるまちづくりに寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
引き続き浸水対策を実施する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道都市浸水対策達成率	
	最終目標値	80%
	最終実績値	79%
		用地交渉の難航等により、一部事業が実施できず、最終目標値までは達成できなかったが、都市浸水対策達成率を約0.1%向上させるなど浸水対策を進展させることができた。今回実施できなかった事業については、次期整備計画にて実施する。